

第1回江南市SDGs未来都市計画推進協議会 議事要旨

日 時 令和7年8月7日(木) 10:00~11:30
会 場 江南市役所 防災センター3階 仮眠待機室
出席者 出席委員9名

■委員

《会長》	加藤 幸治	江南市都市計画審議会
	大野 真司	江南商工会議所
	沓名 珠子	江南市子ども・子育て会議
	鈴木 秀明	江南市社会福祉協議会
	高田 大覚	愛知県宅地建物取引業協会
	人見 浩司	名古屋経済大学
	松本 梨枝	公募市民
	森 亮輔	江南金融協会(あいち銀行江南支店)
	吉田 勝好	スターキャット株式会社

■傍聴者

なし

◆議題

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 協議会の進め方
- 4 議題
 - (1) 会長の選出について
 - (2) 江南市SDGs未来都市計画について
 - (3) 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて
 - (4) その他

<配付資料>

資料1	委員名簿
資料2-1	設置要綱
資料2-2	協議会の進め方
資料3-1	江南市SDGs未来都市計画
資料3-2	江南市SDGs未来都市計画 KPI 達成状況
資料4	江南市SDGs官民共創プラットフォームについて
資料5	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施報告
その他資料	こうなんSDGsワークショップチラシ

◆会議結果

1 開会

企画部長より挨拶

2 自己紹介

委員及び事務局より各自自己紹介

3 協議会の進め方

(事務局) ～「資料2-2 協議会の進め方」について事務局から説明～

4 議題

(1) 会長の選出について

委員の互選により加藤委員を会長に決定

会長の指名により会長不在時の代理を沓名委員に決定

(2) 江南市SDGs未来都市計画について

(事務局) ～「資料3-1 江南市SDGs未来都市計画」「資料3-2 江南市SDGs未来都市計画 KPI達成状況」について事務局から説明～

(委員) 市のSDGsの取り組みや協議会の目的を改めて確認したい。

(事務局) 市の第6次総合計画が令和6年度から後期計画期間に入っており、総合計画で掲げているまちづくりの目標を行政だけでは進めることが難しいため、SDGsを通じた官民連携のパートナーシップで進めていくための目標としてSDGs未来都市計画を策定している。6頁に「2030年のあるべき姿」として6つの大きな目標を立てており、8頁以降にそれらの目標を達成するためのさらに具体的な目標を定めている。委員には各目標について、それぞれの経験や業務などからお気づきの点があればご意見いただきたい。

(会長) 総合計画とも関連性があるという視点を持って議論していただきたい。

(委員) 12頁に「駅周辺のにぎわい創出」とあるが、布袋駅は鉄道高架化もされてにぎわいの創出に向けた取り組みがされているのは見受けられるが、江南駅はどのような状況か。

(事務局) 江南駅周辺については、時間帯によって交通渋滞があるため、まずは交通環境の改善に向けた計画策定を進めている。

(委員) 「官民共創」の定義は何か。

(事務局) 行政だけでは持続可能なまちづくりを進めていくことが難しい中で、多様なステークホルダーと連携するという意味では「官民連携」であるが、連携して既存のものに取り組むだけでなく、新たな価値創造を目指すために「官民共創」という言葉を選んだ。

(3) 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて

(事務局) ～「資料4 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて」事務局から説明～

(委員) 課題提出者の課題が、地域課題なのか提出者固有の課題なのか整理する必要がある。

(事務局) 現状、課題提出者は行政のみに限定しているが、今後SDGsパートナーや市民活動団体などに拡大していく予定である。その際には、江南市地域交流センターに配置しているコーディネーターとも連携して地域課題か否か整理していく。

(委員) 企業がSDGsに取り組む意義などの魅力的なセミナーを開催して、そのまま登録していただく流れがあると登録者数が増えるのではないかと。また、パートナー目線でWeb上の課題

だけを見てもマッチングできるか不安であるため、市の職員から課題について話す機会など対面で顔を合わせることで、ミスマッチを防ぐことに繋がると考えられる。

(事務局) 企業がSDGsに取り組む際に必要な情報を得られる機会は作る必要があると考えている。パートナー交流会を令和7年2月に実施した際に、市からの意見を聞けてよかったという声もいただいている。次回も外部の方を呼んで講義をしていただくことを検討していく。

(委員) 市民にマッチング事例などを周知することが企業のPRとなり、それが雇用の創出や人材不足解消に繋がり、企業にとって1つの登録のメリットになり得るのではないかな。

(事務局) マッチング事例などの情報発信について、市のHPやSNSを通じて積極的に周知することで、市民へのPRとなることが企業にとってのメリットの1つとなり、市民にとっても地元企業の取り組みを知ることによって地元で就職するきっかけにもなると考えられる。

(委員) 一時的に課題を解決するだけではなく、次世代に向けた中長期的なまちづくりを進めるためのビジョンを持って取り組む必要がある。

(会長) 人口減少社会の限られた資源の中で、持続可能なまちづくりを進めるために、若い世代とともに盛り上がる必要がある。そのために市が目指していくビジョンを一般的に分かりやすいものとして市民に波及していくために、次回以降も委員に意見をさせていただきたい。

(4) その他

- ・「資料5 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施報告」、8月23日(土)に開催する「こうなんSDGsワークショップ」、次回会議の予定について、事務局から説明がありました。

以上